

2026年度 木祖村立木祖中学校グランドデザイン

生徒の姿

- 明るく素直で、諸活動に前向きに取り組もうとする生徒が多い。
- 授業に真面目に取り組んでおり、個人で追究できる姿がみられる。
- 失敗を恐れず、考えたことや思ったことを伝えたり行動したりすることに課題がみられる。
- 友と切磋琢磨しながら、課題に対して主体的に取り組む、解決しようとする姿に弱さが見られる。

◇学校教育目標

せいめい
生命を大切にし

自ら伸びようとする生徒

村民の学校教育に寄せる

強い願いや期待

昭和22年開校、「親はボロとまっても子どもの教育のために」と昭和55年校舎改築。

中庭の巨石「野人の理想」に込められた願いは、どっしりとした人間になってほしい。権力におもねることなく、堂々と自己の確立を目指してほしい。

目指す生徒の姿

自ら考え自ら動く生徒

本年度の重点

- 自学自伸
 - ・「自ら考え自ら動く」をキーワードとし、自ら伸びる生徒になることを目指す。
 - ・自らの問いやねがいから課題を設定し、解決策を考え、実行し、振り返るという成長モデルの継続。
- 先見考動
 - ・先を見通し、計画的に考えて動くことができるようにする。
 - ・率先して挨拶するなど、自分を取り巻く方達と積極的にコミュニケーションを図ることで、肯定的な人間関係を築く。
 - ・「自ら考え自ら動く」ことで、社会的な自立の基礎を身につける。

学びで支える学校づくり

- ◎主体的・対話的で深い学び
- 研究テーマ
『自ら考えようとする生徒の育成』
～問いや願いから展開する授業を通して～

【おとりサイクル】

- ねや!?なぜ?問いや願いをもつ
- ねわり(ゴール)までの見通し
- ねり組んでみる→修正・改善
- ねかいてきたか、振り返る

- ・各教科の基礎・基本
- ・マイプラン学習
- ・総合的な学習の時間
- ・小学校との連携
- ・木祖村との連携



自立活動の充実

- ◎先を見通した行動
計画⇒実行⇒振り返り⇒改善
- 生徒自身による学校づくり
・生徒会活動

令和8年度 スローガン

Be yourself

～一人一人の想いを形にしよう～

- ・率先挨拶
- ・自治 地域貢献
- ・部活導(地域クラブ活動)
- ・歌声
- ・チーム支援・自立支援

共育…家庭・地域・学校で、共に子どもを育てる

子どもは村の宝 地域との連携

- ◎村教育委員会・木祖村コミュニティスクール・PTA・木祖村スポーツ文化活動運営委員会・木祖村総合型スポーツクラブとの連携
- 情報の共有…学校学年通信・ホームページ・参観授業・会議での報告(定例教育委員会・総合教育会議・PTA総会等)
- 学校自己評価…学校評価アンケート(保護者・生徒・教師)の実施と公表・見直しと改善
- 村独自の活動…すくすく大学・土曜学習会・公設学習塾・大学生による学習支援・あいさつ運動
- 村と連携し支え合う活動…
 - ・おとりの時間・学年総合・キャリアアデー・職場体験・平和学習・ゲストティーチャー講話
 - ・奉仕活動・藪原祭り・村芸能祭
- 部活動改革…地域展開(休日活動の地域移行を目指す)
※各部の実情に合わせて、順次休日の部活動の地域展開をめざす